

ねこ貝はじき 小貝又は、ガラスの薄い

円形の玉で、畳の上で行う、おはじき遊び。

カルタ遊び 文字と、教に対する、初歩

的な暗示と、興味を導入する事が出来る。

火鉢を囲んで 両手を表向けて揃え、お

せんべいが、焼けたかな、一二三で、さされ

た児は、裏返していき、順々に繰り返して、

早く両手が裏になったものが勝つ遊び。

ずいずいづつころぼし ごまみそずい

数人の児が、輪になり、両手を軽く脂先だけ

中空に握り、各自の作った穴に、皆で歌い乍

ら一人が順次に、人指し脂で、さしていき、

当った児は、手を引く、両手とも当って、早

く引き込められた者が勝つ遊びで、人数は次

第に減るが最後までする。

その歌詞は、

ずいずい、ずつころぼしや、ごまみそずい

しやつぽに、おはれて、とうびんしゃん、

ぬけたら、どんどこしよ、たわらのねずみ

が、米食ってしよ、しよしよっしよ、お父

さんがよんでも、お母さんがよんでも、い

きるこなーしよ、井戸の廻りで、御茶碗破

ったの、だあれ、わたし

まりつき まりをつく時、当地方では、

こんな歌を唱い乍らつきます。大体五十位の

数になります。

ねこねんねこ さかやねこ

さかやが いやならよめらかそ

よめりの どうじは 何々ろ

箆筒 長持 鉄み箱(裁縫箱)

此れしこ 持たせて やったなら

帰えろうてつども 思わすな

ねこねんねこ、さかやねこ

以上のようなものが、当地方に於ける、遊び

としてありますが、自由遊びを通してみます

と、男児の遊びは、屋外的で、活動的で、変

化も強いが、女児の遊びは、普通、羽根つき

石けり等の遊びが多く、性格的に見て、当然

の事と思われれます。お天気の時、出来るだ

け、屋外保育をして、粘土製作や、絵画や、

お話し、唱歌、リズム遊び等をなし、賭け遊

びの、ラムネ玉打ち、パッチ返し、等は中止

させ、健全な、集団的な遊び、例えば、ごろ

ごろさん遊び等、又福笑い等の、個人にては

興味がない遊びをと、方向づけています。寒

いからとて、お炬燵に入り切りで、一日を過

す事や、寒いからとて、その防禦面のみを思

つてやる事より、大いに活動して体温を暖た

める様、積極的な遊びに、方向づけて行き度

いものです。(久留米幼稚園)

## 冬の南九州

守田 キョカ

各地方に古くから伝わる特有な遊びは、そ

の地方に於ける古来よりの風俗、風習又数々

の伝説に裏付けされて、今日にいたるまで、

子供の遊びの中にも見られるようです。

その「遊び」の数々も特に戦後を境として

中央や他府県に於て行われていた所の「遊

び」が、ラジオにより、或は転入者によって

もたされ、当地特有の遊びは次第に影をひそめつつあります。

私共の幼い時に遊んだ遊びは、郷土のじゅうすいのものでありましたが、現在は余り遊ばれておりません。次に、二、三の遊びを記してみたいと思います。

本県の代表的民謡として全国的に知られている「肥後わらべ歌」によって遊ばれるまりつき遊びがあります。遊び方は、各地方のそれと共通して居りますので省略し、まりつき遊び歌を記します。

### 熊本市内で使われるまりつき遊び

あんたかたごこさ、ひごさ、ひごごさ、くまもとさ、くまもとごこさ、せんばさ、せんばがわにはえびさがおるさ、それをりようしが、あみさでとるさ、にてさ、やいてさ、くてさ、うまさ、なつさ

### 天草の湯島のまりつき遊び

一、いもいもいも  
二、にんじん、にんじん、いもにんじん  
三、さかな、さかな、いもにんじん、さかな

な

四、しいたけ、しいたけ、いもにんじん、さかな、しいたけ

五、ごんぼく、いも、にんじん、さかな、しいたけ、ごんぼ

六、ローソク、いも、にんじん、さかな、しいたけ、ゴンボローソク

七、セリんく、いも、にんじん、さかな、しいたけ、ごんぼローソク、セリん

八、はがま、はがま、いも、にんじん、さかな、しいたけ、ごんぼ、ローソク、セリん、はがま

九、くじら、くじら、いも、にんじん、さかな、しいたけ、ごんぼ、ローソク、セリん、はがま、くじら

十、じゅうばこ、じゅうばこ、いもにんじん、さかな、しいたけ、ごんぼ、ローソク、セリん、はがま、くじら、じゅうばこ

わしげんやみや、(山)わしがおって、わしがてっぼうで、わしをうたたら、わしも、わしもたまがった。

冬期は火鉢やいろりをかこんで遊びに打興ずるのは、どこも同じであろうと思います。

### 一、ぶくてつぶく遊び

いっぶく、てっぶく、てんだいさんのおとひめは、ゆられに、もまれて、なくこえは、びよくもんがらくおしやりこ、しやり、しやり、ときによってこれをひけ遊び方……数名輪になって、両手をこぶしにして出す。一人が歌いながら、こぶしをさして廻る。歌の終わった時、当たったこぶしを引く。そうして最後迄残ったこぶしの者が歌や色々な芸をする事になる。

### 蜂遊び

一がさした、二がさした、三がさした、四がさした、五がさした、六がさした、七がさした、八がさした  
ぶんくくくくくくく

遊び方……一人が一がさしたで、手の甲を上にして出す。二、三、四と順々に手の甲をつまんで重ね八がさした(蜂)で皆一斉にぶんくくくく言いながら顔や手足をつまむ。

## ジュズ玉遊び

おひとつおろしておさあらい

おふたつおろしておさあらい

お三つ、お四つ、お五つ右に同じ

おみんなおさあらい

おてしゃみくくくくくくくくくくおさあらい

おつかみくくくくくくくくくくおさあらい

おちりんくくくくくくくくくくおさあらい

おひだりくくくくくくくくくくおさあらい

なかよせくくくくくくくくくくおさあらい

おてんぼうしくくくくくくくくくくくおさあらい

おくひしくくくくくくくくくくくおさあらい

おくそでくくくくくくくくくくおさあらい

右の様に歌って色々な動作が変わって一上りとなりまます。

遊び方……この遊びは、田ばに実るジュズ玉を取り糸に通して種々な細工を施して、それを使って遊ぶ又おじゃめを作り前記の歌に合わせて色々な動作をする。順を追って上る。

戸外遊び

季節的に運動的になっております。

## 1こま遊び

○いきなが遊び

○こまわり遊び

右は何れも力が入るので近辺に居てはきけんな点が見えます。

他に大学校遊び、杉の芽さがし、猫買い遊び等日和ぼっこをしながら遊ぶようです。

## 2親とろ子とろ

親とろ子とろ、どんこがほしい

すそんこがほしい、とんならととってみろ

遊び方……親が先頭になり、子が後につながる。鬼が親の通せんぼをおしのけて子をつかまえる。

## 市内川尻町地方での正月の遊びの一つ

### もぐらうちの子

もちやかしゃい／＼

かずのこざかなで

かんつけしやい(リかんリと言うのは酒をつけることリしやいハしなさい)

右の歌をくり返ししくり返しうたいながら地面をわらの上からなわでぐる巻きにしたものでたいていきます。そしてこちらから、

もぐらのいそうな所をしっかりたいてくれと注文をしますと、子供達は、歌を歌いながら、ボタンボタンと何度も何度も地面をたたきつけてくれます。

そして子供達は、各自もちを一つ二つづつもらって帰っていきます。これは正月の十日頃から十四日のどんどの前日まで、つづければ、子供は各家庭からもらった餅を、十五日のどんどの火でやいて、食べるのです。どんどの火でやいた餅を食べると、病気をしないといわれています。こうして子供達のだたいてくれた所にはもぐらは来なくなりまます。

以上私のきき及びましたものと、観察の範圍で本当にせまい視野の報告になりました御主旨にそわなかつた事を御許し下さいませ。

(熊本市立一新幼稚園)